

平成20年度松川高校学校教育目標と評価の観点

長野県松川高等学校

学校教育目標	重点目標 (中長期的目標)
校訓 「創造・自律・誠実」 (1)一人一人の生徒を尊重する教育の実践 (2)自発的、自主的な学習態度の育成 (3)個性を生かす進路指導の充実 (4)情操豊かな徳性と自律の精神の養成 (5)心身の鍛練と質実剛健の気風の育成 (6)郷土を愛し、地域に学び、地域に尽くす心の育成 (7)創造の意欲に燃える良き校風の樹立	確かな学力を養い、基本的生活習慣の確立を図り、豊かな心を持つ生徒を育成する。
	今年度の重点目標
	生徒が個人として尊重され、安全で活力ある学校生活を保障する。
	基礎学力に習熟し、探究的学力を伸ばす授業づくりをすすめる。
	個性と能力を活かしたキャリア教育と組織的進路指導を実践する。
	社会参加を促し、自治的実践力を養う学校教育活動を展開する。
	地域社会に根ざし、生徒・保護者・住民参加の開かれた学校づくりを促進する。

領域	対象	評価項目 <small>丸数字は重点目標との関連</small>	評価の観点	領域	対象	評価項目 <small>丸数字は重点目標との関連</small>	評価の観点	
教育活動	教育課程 学習指導	教育課程及び個に応じた選択科目の設定	科目・講座選択は適切だったか。	図書視聴覚	図書利用の向上	読書意欲を喚起させる企画コーナーの充実ができたか。	授業、課外活動での利用が進んだか。	
			講座選択のガイダンス指導は適切にできたか。			視聴覚教育の充実	視聴覚機器の充実と有効活用、放送室等の整備ができたか。	視聴覚教育を通して生徒の情操教育や学力向上に資することができたか。
			エリア制の目標にそくしてカリキュラムの充実を図ることができたか。				学校情報管理	情報機器の活用体制
	教材の精選や授業の工夫などを働きかけ、職員の意識高揚を図れたか。	個人情報保護	個人情報の保護	個人情報保護制度の定着運用と情報化社会への対応課題の研究実践				
	生徒の実態を把握し、学力の定着・向上を図ることができたか。		危機管理	危機管理	防災・事故等に備えた危機管理体制の定着			
	授業研修の機会をもてたか。	環境美化		清掃美化の徹底	生徒自ら、自発的に環境美化活動に取り組み姿勢を養い、校内美化の徹底を図ることができたか。	地域における学校の果たす役割として、駅周辺と通学路の環境美化に努力できたか。 また、ごみの減量化、ごみの分別等ができたか		
	生徒の自律的態度を養うと同時に生徒理解を深めることにより、問題行動を未然に防止できたか		人権平和教育		人間の尊重、差別を容認しない態度の育成	教育課程すべての領域において、人権平和教育を行い、人権意識を高めることができたか。	生徒の実態に即して人権平和教育を推進できたか	
	自律的態度・安全な学習環境の向上	開かれた学校づくりと地域		保護者との連携		保護者への情報提供と意見交換をすすめることができたか。	保護者との協力関係の中でPTA諸会合・行事・学年学級PTA等を充実させることができたか。 保護者との連携を通じて生徒への指導に反映することができたか。	
	基本的な生活習慣の確立		生徒会活動の活性化		継続的な委員会活動が展開できたか	保護者との連携を通じて地域への指導に反映することができたか。	地域の文化資源として学校を位置づけ、住民の理解を得るとともに、地域の教育資源を活用した学校運営ができたか	
	挨拶の励行、マナーの定着ができたか	生徒会活動による自発的 態度と実践力の育成		意欲的にクラブ活動に参加する姿勢を養い、また、クラブ加入率を上げるなど活性化のための方策がとれたか	中学校に対して本校の教育方針や取り組みについて積極的にアピールすることができたか	学校ホームページのコンテンツの充実と情報公開を図ることができたか		
	高校生としてふさわしい身だしなみが定着できたか		教育相談の充実 (不適応生徒へのケア)	社会参加を図り、地域に貢献する取り組みを行うことができたか	生徒・保護者・住民の学校参加	松高しゃべり場の制度的定着と学校評議員会の充実		
	生徒個人の適性・条件にあった進路指導	生徒会活動による自発的 態度と実践力の育成		基礎学力の向上、小論文対策、補習授業など計画的に実施できたか	生徒・保護者・住民の学校参加	松高しゃべり場の制度的定着と学校評議員会の充実		
入学から学年に応じた進路計画が立案され、実施できたか	生徒会活動による自発的 態度と実践力の育成		入学から学年に応じた進路計画が立案され、実施できたか	生徒・保護者・住民の学校参加	松高しゃべり場の制度的定着と学校評議員会の充実			
生徒、保護者に対して有効な進路情報を提供し、進路決定の材料とすることができたか		教育相談の充実 (不適応生徒へのケア)	対応を必要とする生徒の状況の把握を恒常的に行う体制が構築できたか。	生徒・保護者・住民の学校参加	松高しゃべり場の制度的定着と学校評議員会の充実			
基礎学力の向上、小論文対策、補習授業など計画的に実施できたか	保健		関係者との連絡を密に取り、適切、迅速な対応ができたか	生徒・保護者・住民の学校参加	松高しゃべり場の制度的定着と学校評議員会の充実			
入学から学年に応じた進路計画が立案され、実施できたか		保健	健康診断による全校の健康状態の把握と、その結果を踏まえ随時適切な処置を行うことができたか	生徒・保護者・住民の学校参加	松高しゃべり場の制度的定着と学校評議員会の充実			
生徒の実態を把握し、学力の定着・向上を図ることができたか	保健		生徒自身が自己の発育、健康状態を理解し処理できるような取り組みができたか	生徒・保護者・住民の学校参加	松高しゃべり場の制度的定着と学校評議員会の充実			
授業研修の機会をもてたか		保健	応急手当の方法に関する意識の向上ができたか	生徒・保護者・住民の学校参加	松高しゃべり場の制度的定着と学校評議員会の充実			